

アメリカミシガン州駐在員便り

2011/10/25 駐在員 田上 淳一

【ミシガン州北端の日本】

1968年に滋賀県と姉妹県州となって以来、現在ミシガンには13の姉妹都市と4の友好市があります。今回は、その一つスーセマリー市にある、「あるもの」をご紹介します。

同市は、ミシガン州の北端に位置し、カナダと国境を接する人口約1万6千人の市です。県内では竜王町と姉妹都市で、親善使節団相互派遣や中学生の交換交流を行っています。また、同市にはレイクスーベリアー州立大学があり、滋賀県立大学の学生の受け入れ等を行っています。

今回ご紹介するのは同市にある、米国内に現存する中で最も古いとされる、日本の「鳥居(とりい)」についてです。これは、同市出身で、旅行作家・自然史研究家でもある故チェイス・オズボーン ミシガン州知事が日本に旅行したときに持ち帰ったものだそうです。以下、1923年6月3日のスーセマリー新聞夕刊からの抜粋です。

「世界中を旅する中で、彼(チェイス・オズボーン氏)は自分が素敵だと思ったものを、現地で手に入れて同市に送った。これらの中で、もっとも目を引くのは、日本の鳥居である。市立公園の入り口に位置し、公園を彩っている。」

ミシガン州の北端にも、「日本」がありました。

